

令和 6 年度研修事業の見直し（案）等について

(1) 新規及び変更を検討している研修

① ハラスメント研修

令和 4 年度末に各団体に実施したアンケート調査において、新規研修での要望件数が 1 番多かった研修であり、研修業者によると、民間企業も含め 1 番需要がある研修はハラスメント研修であるとのこと。

セクハラ、パワハラ、マタハラを中心とした内容で考えており、自治体で実際に起こった事例を集め、事例研究のような形式での実施についても検討中。

② 部下とのコミュニケーション研修 → 職場でのコミュニケーション研修

係長級以上を対象としていたが、コミュニケーションは職場において役職や年代関係なく必要であるため、一般職員を対象とするものも新設する。なお、世代間ギャップ等の側面から、全職員を対象として一緒に実施するのはすぐわない部分があるため、若手・中堅職員と係長級以上に対象者を分けて実施するよう検討中。

(2) 廃止を検討している研修

① 条例等の評価（効果の把握・分析）・見直し研修

平成 30 年度から実施しているが、毎年定員に満たない研修であるため。

② チームマネジメント研修

係長級以上を対象とした同様のマネジメント系の研修（例：コミュニケーション研修、リスクマネジメント研修、コーチング研修）があり、チームマネジメント研修は課長補佐研修と類似した研修になっているため。

(3) 海外派遣研修について

令和 6 年度再開予定。対象団体 18 団体に参加意向の有無を確認したところ、13 団体の参加意向を確認。（資料 3-2 参照）

(4) 管理職セミナーの見直しについて

現在実施している管理職セミナーは定員割れが続いているため、内容を見直す必要性を感じている。

当センターに以前から問合せや要望があった、定年延長や再任用職員との向き合い方などの内容で検討中。